

第46建設・据付事業所の保有車両に関する技術確認書・2001年10月

KamAZエンジン： 圧縮圧力の上昇、 気筒間のばらつき低減

タトネフテガストロイ公開株式会社、第46建設・据付工事事務所・確認書の署名は同事務所の整備士および運転手、処理の実施はAI-XADO有限責任会社

ロシア、タタールスタン共和国・2001年10月31日付の確認書

製品

XADO技術による処理
実施：AI-XADO有限責任会社（
アリメチエフスク）

試験対象

KamAZトラックのエンジン
登録番号V 841 OKhおよびV 814
EM・右バンクの気筒別圧縮圧力

文書の種類

第46建設・据付事業所の技
術確認書
署名・押印付き

車両	処理前測定時の走行距離 計	確認測定までの走行距離	測定項目
KamAZ、登録番号V 841 OKh	37,951 km	11,014 km	気筒別圧縮圧力・潤滑油圧力
KamAZ、登録番号V 814 EM	49,134 km	15,445 km	気筒別圧縮圧力・潤滑油圧力

確認測定は処理直後ではなく、車両の通常運行で11～15千 km走行した後に行った。

両車両に共通する結果

↑ **9.1-20.6 %**

両車両の気筒別圧縮圧力、22.2～26.6 → 25.9～30.0

気筒間の圧縮圧力の均一化

右バンクの気筒別圧縮圧力（両車両の比較）

気筒	V 841 OKh、処理前	V 841 OKh、処理後	V 814 EM、処理前	V 814 EM、処理後
第1気筒	23.2	26.1	26.6	29.7
第2気筒	22.5	26.6	25.7	30.0
第3気筒	24.1	26.3	26.1	29.6
第4気筒	22.2	25.9	24.8	29.9
気筒間のばらつき	1.9	0.7	1.8	0.4

確認書の書式には圧縮圧力の単位が記入されておらず、値は文書の記載どおりに示す。上昇は全8気筒で見られ、低下した気筒はない。

潤滑油圧力

運転条件	V 841 OKh、処理前	V 841 OKh、処理後	V 814 EM、処理前	V 814 EM、処理後
アイドリング	1.6	2.0	1.9	2.4
2,000 min ⁻¹	3.7	3.9	3.8	4.7

潤滑油圧力の単位はkgf/cm²である。アイドリング時の測定は、処理前が45 °C、処理後が60 °Cで行った。

確認書の記載内容

第46建設・据付事業所の両確認書は、同一の結果を記録している。車両V 841 OKhについては「圧縮圧力の**14%**上昇、気筒間のばらつき低減」、車両V 814 EMについては「圧縮圧力の**15.5%**上昇、気筒間のばらつき低減。潤滑油消費量の大幅な減少。エンジンの運転中の異音が消失した。車両の加速性が向上した」と記載されている。なお、同じ確認書には、処理前のエンジンの状態として潤滑油消費量が多いことが記録されている。上昇は右バンクの全8気筒で得られ、上昇幅は摩耗の最も進んでいた気筒で特に大きかった。気筒間のばらつきは**1.8～1.9**から**0.4～0.7**に縮小した。圧縮圧力は定格値を超えて上昇することはないため、各気筒が同一の値にそろえることが到達しうる上限である。確認測定は、車両の通常運行で**11,014 km**および**15,445 km**走行した後に行った。

XADO

© XADO。すべての権利を留保する。

本結果は、第46建設・据付事業所の保有車両のうちKamAZトラックのエンジンについて、記載の走行距離で得られたものである。他の機械類や異なる使用条件では、測定値が異なる場合がある。処理はAI-XADO有限責任会社が実施した。確認書の原本は全文を公開しており、ダウンロードが可能である。